

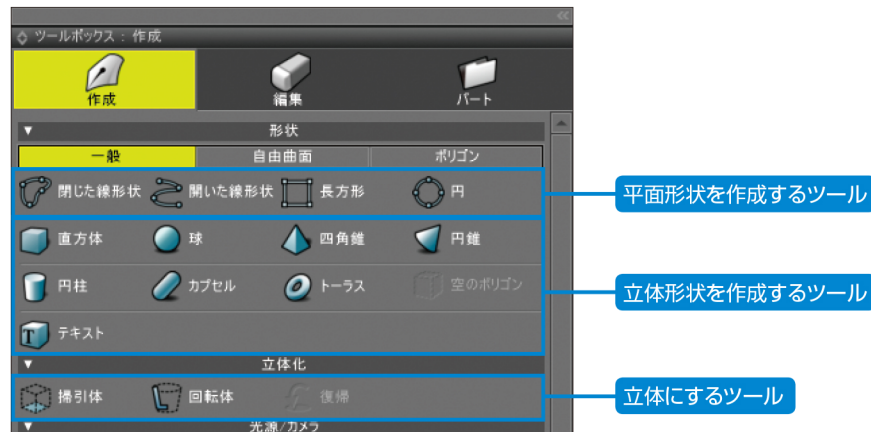
# Lesson 01 知っておこう! 形状の違いについて



Shade3Dの基本的な形状作成について解説します。

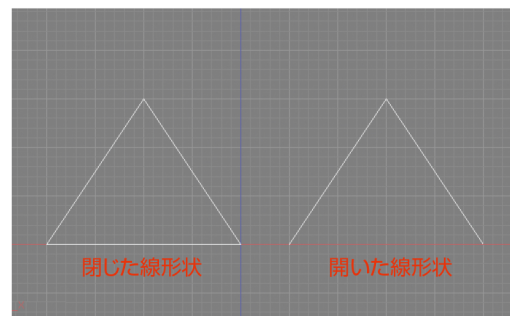
## STEP 01 ツールボックス [作成] の概要

ツールボックスの [作成] から各ツールを選択して作成します。[一般] にあるツールを分類すると、以下のようになります。

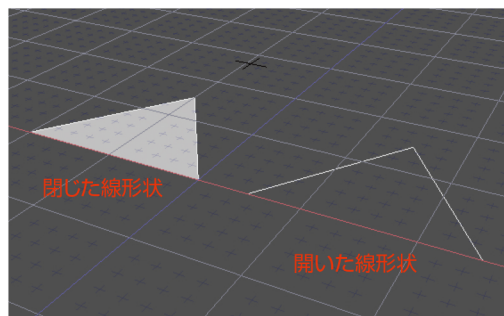


## STEP 02 平面形状を作成するツール 線形状

平面形状を作成するツールに線形状があり「閉じた線形状」と「開いた線形状」の2種類があります。「閉じた線形状」は線で囲われて閉じ、そこに面が張られます。一方、「開いた線形状」には面ができません。



[上面図] での表示



[透視図]: シェーディング+ワイヤーフレームでの表示 (表示設定は p.55 の手順 10 参照)

### 01 「閉じた線形状」を選択する

線形状は、「閉じた線形状」(もしくは「開いた線形状」) を選択します①。

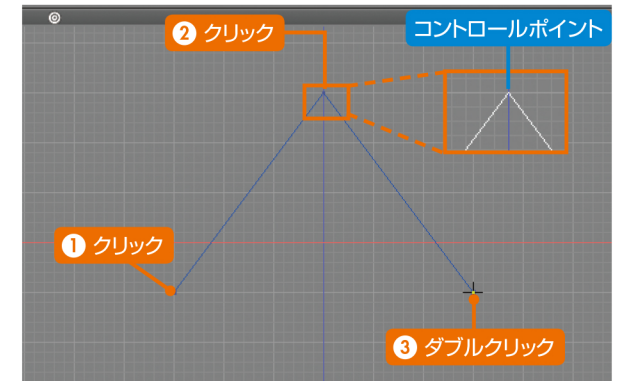
#### Point 線形状の終了方法

描画の最後に [Enter] (Mac は [return]) キーを押して終了することもできます。



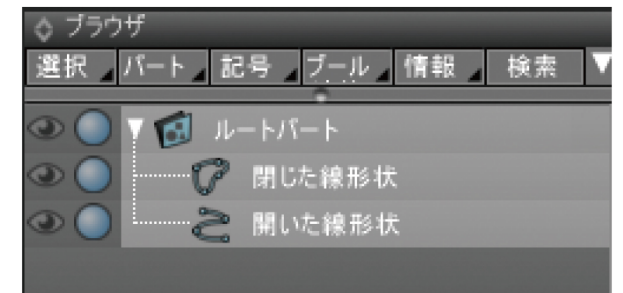
### 02 三角を描く

[上面図] でクリックしながら描画します①②。クリックしたところに「コントロールポイント」が作成されます。最後にダブルクリックして終了します③。



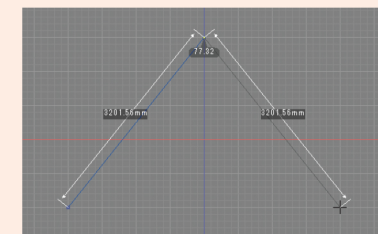
### 03 「ブラウザ」を確認する

[ブラウザ] には、「閉じた線形状」や「開いた線形状」と表示されます。



## COLUMN Professional 版の「角度と長さを表示」について

Professional 版ではツールパラメータの内容が追加され、線形状を作成中にポイントの座標、長さ、角度を変更できるようになりました。線形状を描画すると画面に角度と長さが表示されます。表示を隠したい場合は、ツールを選択後に「角度と長さを表示」のチェックを外します。



Professional 版では描画中に角度や寸法が表示される

チェックを外す

